

平成29年度 常盤小学校外部評価報告書

評価委員：海老原裕委員、田中二郎委員長、中田幸治委員、邊田紫乃委員、佐藤るみ子委員  
報告書作成者：中田幸治委員

評価時期 平成29年2月

1 重点目標の評価

**重点目標1** 「確かな学力の向上」について

○担任のみならず多くの先生にかかわってもらい、児童が集中して学習に取り組める環境を作ってもらっている。また、多くの行事や英語の取組がある中でも、各教科の授業をおろそかにせず、時間の使い方を工夫して補習の時間を設けていることで、課題を解決していることがうかがえる。

**重点目標2** 「国際的な小学校に向けての土台づくり」について

○文部科学省の英語科・国際科の教育課程特例校指定2年目となり、「常盤の英語」を確立してきた。特に、スピーチコンテストでは英語の発音や表現はもとより、発表内容についても、高学年で地域の学習との融合が見られるなど、素晴らしいものになっている。  
○カルタ、凧作り、木遣り、神田祭などの学習では、地域人材をゲストティーチャーとして招き教わったり、国際科では、老舗の学習、日本橋の街のフィールドワーク、日本銀行、東京証券取引所の見学など地域の資源の有効に活用したりしていた。今後も、学校のある街「日本橋」を意識した授業を続けてほしい。

**重点目標3** 「豊かな心と体づくり」について

○子どもたちが体力作りに取り組めていないという回答が多いのが気になる。改修工事のため校庭の遊べる範囲が狭くなっていること、児童数増加のため校庭が使えない日があることなど原因が考えられるが、工事は数年続くため、体力作りの方法や児童のやる気を持続させる工夫をしてほしい。

2 今後の改善に向けた意見

「児童の実態を基に、授業改善を行っている」「マイスクールスポーツを通して児童の体力を高めている」の回答で「わからない」が1割以上を占めている。学校としては、行っていないわけではなく、保護者に伝わっていないことがあると分かる結果である。学校の広報の仕方に問題があると思われる。保護者に一番身近であろう学年便りは、予定や持ち物の連絡がほとんどを占めてしまうことが多くある。今後は、取組の結果や途中の苦労話なども知らせてほしい。また、HPでのお知らせは現状通り適宜、更新をして新しいニュースを提供していただきたい。

3 その他の意見

○英語科でタブレット端末を使った授業を見たが、Wi-Fi環境が整っておらず、先生方が苦労されていた。Wi-Fi環境を整えば、さらなる授業の工夫と効率化が見込めると思う。